

平成20年度「小中高 夢のかけ橋推進事業」実施報告書

東京都立足立新田高等学校

全日制課程

1 計画の概要

地域連携の一環として、保育所、小・中学校などとの連携や招待事業を行い、異年齢交流を通して、生徒の豊かな人間性の育成を図る。また、日ごろお世話になっている地域の教育機関に感謝の気持ちを込めて、本校の施設や人的資源を還元することで、「開かれた学校づくり」の一層の推進を図る。

中学校との連携では、本校教員による福祉体験授業、運動部顧問及び部員による運動部体験、生徒会を中心としたアフガニスタン教育支援駅頭募金活動などを行う。小学校との連携は、相撲部顧問及び部員による少年相撲教室（わんぱく相撲大会）を行う。その他、保育所と連携し、本校生徒が職場実習や体験保育を行う。また、保育所の夏祭りの補助や、保育の授業での保育園児の「ご招待会」などを行う。

2 実施内容

(1) 高校での授業体験

- ① 3つの学系列科目授業体験 7月19日、9月27日
- ② 福祉授業体験「高齢者との対応について」9月9日

(2) 部活動体験入部

- ① 少年相撲教室（わんぱく相撲大会） 11月2日
- ② 女子バレーボール部 11月5日
- ③ バドミントン部 11月23日
- ④ 女子バスケットボール部 11月26日

(3) ボランティア活動

足立区立新田中学校との連携によるアフガニスタン
教育支援駅頭募金活動 4月28日

(4) その他

- ① 保育所での保育体験 「保育実践」 9回実施
- ② 新田中学校の朝礼講話に本校教員が講演 9月25日



(保育実践)

3 成果と課題等

【成果】 体験入部では、生徒たちが保育園児、小・中学生との交流を通して、高校生としての誇りやリーダー的な意識が芽生え、良い社会体験を積むことができた。一方、参加した中学生は、「とても親切に教えてくれた」「練習はきつかったけど楽しかった」など、高校での練習の雰囲気や厳しさを実感できたようであった。また、近隣地域の中学校だけでなく広範囲の地域から参加してくれたので、高校生とだけでなく中学生同士でも交流を深めていた。

アフガニスタン教育支援駅頭募金では、開始して7年目となり本校生徒と新田中学生との交流も一層深まり、また、ボランティアに対する意識も高まっている。保育園との交流は、保育士志望が多い本校にとってとても有意義である。

【課題】

体験入部希望申込者が多く、断りの連絡をせざるを得ない状況がある。